

スマートシティに関連するプロジェクト一覧

No	分野	連携事業者	プロジェクト内容	実施エリア	報道提供時期	実施時期 (実証事業)	プロジェクトの結果及び進捗	所管課	実装○ 未実装― 実証中△ イベント等■
1	ヘルスケア	高齢者施設 障害者施設等	【目的】 コロナ禍で面会が制限されている施設入所者等と家族の面会支援 【概要】 デジタル面会：高齢者施設、障害者施設、児童養護施設（計47施設）にタブレット端末を貸出	全市	R2. 4. 30	R2. 4～R3. 3	【参加者数】 高齢者施設42施設、障害者施設4施設、児童養護施設1施設 【結果（参加者満足度等）】 ・タブレット端末返却時のアンケートでは、デジタル面会の利用を好意的に受け止めた高齢者施設が88.6%であった。 ・障害者施設の管理者向けアンケートでは、利用した方全員が好意的に感じているとの回答があった。 ・児童養護施設において、実際に使用したことから、「電話よりも話しやすい」「画面を通して複数で話せるから良い」など、評判が良かった。 【成果・得られた知見等】 ・タブレット端末を活用し入居者と家族とのコミュニケーションが取れたことで、双方のストレスと不安の解消につながった。 ・タブレット端末貸与期間終了後に施設独自でタブレット端末等を購入し、デジタル面会を継続すると表明した高齢者施設が30/42（71.4%）、児童養護施設が1/1（100%）あった。	介護事業者課 障害支援課 子ども家庭課	○
2	モビリティ	株式会社Mellow 〔泉北ニュータウン地域 物販飲食サービス提供支援〕	【目的】 ・買い物困難者支援 ・新型コロナウイルスによる新しい生活様式への対応 （3密回避、感染地域への移動自粛、テイクアウト など） 【概要】 ・キッチンカーの実証プロジェクト ・スマホアプリも活用しながら、近隣センターや団地内において、フードトラック、移動販売車を配車	泉北NT	R2. 9. 23	R2. 10	【参加者数】 （キッチンカーでの提供食数）2,834食 【結果（参加者満足度等）】 実証期間内でのリピート率5割、便利と感じる8割 【成果・得られた知見等】 ・外食に代わる選択肢としての利用もあり、新しい生活様式への有用性が認められた。 ・実装には、事業採算の確保が課題となる。	泉北ニューデザイン推進室（旧 ニュータウン地域再生室） 南区役所企画総務課（旧南区区政企画室） 政策企画部	―
3	その他	南海電気鉄道株式会社	【目的】 ICTを活用した傘の貸し出し「チョイカサ」による空きスペース活用 【概要】 公共スペースや駅施設の一角に傘の貸出スペースを用意し、スマホからレンタルする仕組みを提供	堺区	R2. 9. 30	R2. 10～R5. 7	【利用数】 累計約1,200回 【成果・得られた知見等】 気軽に傘を借りられる環境を整備したことで、市民及び来場者の利便性向上、SDGsの推進（気候変動への適応等）に寄与した。	政策企画部 環境政策課	―
4	ヘルスケア	ユニバーサル・サウンド デザイン株式会社	【目的】 加齢性難聴支援 【概要】 加齢性難聴対応のスピーカー「コミュニケーション」の現場実装	全市	R2. 9. 30	R2. 10～R2. 11	【参加者数】 404名 【結果（参加者満足度等）】 参加者のうち約67%が聴こえの改善を実感した。 【成果・得られた知見等】 対話支援機器の効果を検証することができ、市役所関連施設等で本格導入することとなった。 ・基幹型包括支援センター7か所 ・地域包括支援センター22か所（地域相談窓口含む） ・老人福祉センター6か所	長寿支援課 政策企画部	○
5	ヘルスケア	株式会社エクサウィザーズ	【目的】 コロナ禍での高齢者の運動機能把握 【概要】 健康あっぷ講座等の利用者を対象としたAIによる状態評価の実証事業	全市	R2. 11. 18	R3. 1～R3. 3	【参加者数】 43名 【結果（参加者満足度等）】 概ねの参加者から好評価を得た。 【成果・得られた知見等】 ・コロナ禍において、非接触で健康測定及び意識改善を行うことができた。 ・「本撮影ツールをご友人やご家族にも薦めたいですか？」の問いに対し、約85%の方が6～10（10が非常に薦めたい）と回答した。	中百舌鳥イノベーション創出拠点担当（旧イノベーション投資促進室） S-Cube 長寿支援課 政策企画部	―
6	リモートワーク	南区	【目的】 新しいライフスタイル／ワークスタイルを促進し、働く方を支援する。 【概要】 南区役所内にテレワークオフィスを開設	南区	R2. 11. 26	R2. 11 （実装からスタート）	【結果】 R6年度実績で1日あたり平均1.9名の利用がある。 【成果・得られた知見等】 利用者が定常的におり、新型コロナウイルス感染対策、また、新しいライフスタイル／ワークスタイルの普及のためのテレワークの促進を行うことができた。	南区役所企画総務課（旧南区区政企画室）	○

スマートシティに関連するプロジェクト一覧

No	分野	連携事業者	プロジェクト内容	実施エリア	報道提供時期	実施時期 (実証事業)	プロジェクトの結果及び進捗	所管課	実装○ 未実装― 実証中△ イベント等■
7	ヘルスケア	大阪大学 石黒教授 大阪大学 西尾教授	【目的】 認知症患者等の早期発見や見守り 【概要】 ・アンドロイドを活用した認知症早期発見システムの開発 ・認知症高齢者の音声特徴の把握を目的とした、健常高齢者の音声データの収集	泉北NT	R3. 1. 20	R3. 2～R3. 3	【参加者数】 泉北NTの住民18名 【成果・得られた知見等】 18名の健常高齢者の音声データを取得できた（合計130回分）。 【実装に向けた現状】 システム開発に向けて大阪大学がアンドロイドロボットを使用し、認知症高齢者の音声データを取得し、健常高齢者の音声データとの比較を実施。	長寿支援課 政策企画部	―
8	ヘルスケア	株式会社リンクアンドコミュニケーション 東京海上日動火災保険株式会社	【目的】 国保の小規模事業者の把握と健康管理 【概要】 AI健康アプリ「カロママプラス」を活用した国保小規模事業者等向けの健康管理の実証事業	全市	R3. 1. 20	R3. 3～R3. 10	【参加者数】 128名（36事業所） 【結果（参加者満足度等）】 最終の参加者アンケート回答者のうち、65%が「健康状態にいい変化があった」と答えた。 【成果・得られた知見等】 ・アプリの活用により、一定の健康改善効果が確認された。 ・BMI25以上の対象者の割合が低下した。	健康推進課（旧健康医療推進課） 政策企画部	○
9	モビリティ	パーソナルモビリティ事業者等	【目的】 法的制約の多いパーソナルモビリティについて機運を高める 【概要】 ・イベント「次世代モビリティ大集合」の開催 ・パーソナルモビリティや自動運転モビリティといった次世代モビリティの乗車体験やワークショップ、講演を通じた次世代モビリティの普及促進	市役所	R3. 2. 25	R3. 3	【参加者数（令和3年3月27日）】 来場者数：約1,000人、試乗者数：約500人、参加企業数：15社 【結果（参加者満足度等）】 来場者数も多く、関心を高めることができた。	政策企画部	■
10	その他	早稲田大学	【目的】 消防隊員の活動位置等の情報取得による安全管理 【概要】 ワイヤレス通信技術を用いた、隊員の安全管理を行うための遠隔監視のシステム及び機器の開発並びに現場実装	全市	R3. 4. 7	R3. 4～R4. 3	【参加者数】 大学4名、堺市消防局22人 【結果】 災害現場を想定した通信ネットワーク技術の検証訓練にて、指揮本部等を基点としLPWA規格通信によるICT技術を活かして、現場で活動する隊員同士が通信中継拠点となる通信ネットワークの確立が確認できた。 【成果・得られた知見等】 上記の結果、LPWAの技術であるLoRaと極小軽量なウェアラブル端末の製造が可能なZigBee技術に一番適合する機器及び電波帯を選定でき、それらを組み合わせることが可能であることが確認できた。	警防課	―
11	その他	大阪府立大学 （現：大阪公立大学）	【目的】 住宅火災予防のための啓発用アプリの開発 【概要】 住宅火災を未然に防ぐため、住宅内に潜む火災危険因子をスマートフォンでセルフチェックするシステムの構築	全市	R3. 4. 7	R3. 4～R4. 3	【参加者数】 大阪府立大学（現：大阪公立大学）、堺市消防局 【結果（参加者満足度等）】 職員へのアンケートでは、火災予防に役立つという意見が多かったが、需要は一般向けではなく、特定のユーザー（消防職員や介護職員）にあるという意見もあった。 【成果・得られた知見等】 スマートフォン等で撮影した画像に対して、AI技術等を用いて物体を検出・認識し、火災危険度を自動推定するシステムのアプリを開発し社会実装に向けた課題等を抽出した。当該システムは、物体の検出結果により火災危険度を推定し、火災危険度や火災予防対策を提示する機能を付した。また、検出した画像をタップすることで、その物体に関する火災予防啓発動画（YouTube等）を閲覧できるようにした。	予防査察課	―
12	コミュニティ	株式会社マチマチ 〔地域限定型のソーシャル・ネットワークサービス「ご近所SNSマチマチ」を活用した実証プロジェクト〕	【目的】 地域SNSによる住民の交流促進 【概要】 子育て世代をメインターゲットとした地域SNS「マチマチ」活用による住民相互の交流や行政情報の発信	南区	R3. 4. 14	R3. 4～R4. 5	株式会社マチマチは、「マチマチ」サービスを令和4年5月末をもって終了。 【最終ユーザー数（令和4年5月19日時点）】 月間利用者数：7000名以上、登録者数：1000名以上 【成果・得られた知見等】 南区内におけるユーザー同士による交流や、行政や南区内の関連機関等の情報を発信する仕組みを提供した。	南区役所企画総務課（旧南区区政企画室） 泉北ニューデザイン推進室 政策企画部	―

スマートシティに関連するプロジェクト一覧

No	分野	連携事業者	プロジェクト内容	実施エリア	報道提供時期	実施時期 (実証事業)	プロジェクトの結果及び進捗	所管課	実装○ 未実装― 実証中△ イベント等■
13	コミュニティ	一般社団法人giv [デジタルプラットフォーム「giv」を活用した実証プロジェクト]	【目的】 ICTによる泉北ニュータウンの地域交流活性化、地域人材の発掘 【概要】 ・アプリを使って得意なことを贈りあうデジタルコミュニティ「giv」を通じて、運営者側で参加者のgivをコーディネート ・参加者間の恩贈りをアプリ内で共有することで、地域交流活性化やウェルビーイングの変化を検証	南区	R3. 4. 14	R3. 7～R3. 11	【参加者数（令和3年7月1日～令和3年10月31日）】 19名、ギブ数（得意を相手に送った数）60 【結果（参加者満足度等）】 ウェルビーイング改善項目100%（測定項目18/18にて改善）、ウェルビーイング変化率平均110%（101-123%の間で向上）、地域愛平均変化率109% 【成果・得られた知見等】 ・ICTによって参加者が交流しやすくなり、対象が拡大 ・人に親切にすることで幸福度が増すことを参加者が体験 ・得意なことを通じてつながり、さらに市民交流が拡大	泉北ニューデザイン推進室 政策企画部	○
14	その他	西日本電信電話株式会社	【目的】 AIによる水道管路劣化予測、最適な更新計画の有用性の検証 【概要】 ・AIを活用して水道管路の劣化予測を行い、その結果とこれまでの漏水実績を比較検証し、有用性を確認するもの ・更に管路の重要度を被害リスクとして金額で試算し、それを基に更新計画を自動立案する技術の有用性を確認するもの	泉北NT等	R3. 4. 15	R3. 4～R3. 6	【成果・得られた知見等】 ・水道管路の劣化予測や管路更新計画検討にあたり、本市独自の劣化予測基準とAIを活用した予測を比較し概ね同等の結果が得られ、AI活用の有用性を確認できた。 ・今後の技術開発により、漏水時期（耐用年数など）の予測が可能になることを期待している。	上下水道局経営企画室 政策企画部	―
15	コミュニティ	SOMPOホールディングス株式会社 みずほリサーチ&テクノロジー株式会社	【目的】 デジタル・ディバイドの解消 【概要】 高齢者に、楽しく交流してもらいながらICTに親しんでもらうための講座の実施	南区	R3. 4. 21	R3. 11	【参加者数】 26名 【結果（参加者満足度等）】 参加者アンケートにおいて、約92%が「参加してとてもよかった」と回答した。 【成果・得られた知見等】 楽しみながら、デジタル機器に触れる機会を提供することで、参加者の高い満足度を得ることができた。	政策企画部 南区役所企画総務課（旧南区区政企画室）	―
16	ヘルスケア	SOMPOホールディングス株式会社 みずほリサーチ&テクノロジー株式会社	【目的】 ICTを活用したケアラー支援 【概要】 ICTアプリを活用したケアラー支援のための講習会実施	南区	R3. 4. 21	R4. 1～R4. 5	【参加者数】 12名 【結果（参加者満足度等）】 最終の参加者アンケート回答者のうち、28%が「とても満足した」、72%が「やや満足した」と答えた。 【成果・得られた知見等】 ・リアルとオンラインのハイブリッドで実施したが、どちらで参加された方にとっても満足度の高いものになった。 ・学びやケアラー同士の対話から、抱え込みすぎないことや、被介護者に対する態度の変化等、気づきや共感を得、被介護者との関係性に良い変化があった。	政策企画部 南区役所企画総務課（旧南区区政企画室）	○
17	ヘルスケア	西日本電信電話株式会社 エヌ・ティ・ティ・スマートコネクト株式会社	【目的】 適切な温度でのコロナワクチンの管理支援 【概要】 コロナワクチン温度管理：IoTを活用した冷蔵庫・冷凍庫の温度を遠隔監視の提供	全市	R3. 6. 16	R3. 6 (実装からスタート)	【導入場所】 堺市が運営する接種会場すべてで本システムを導入 【成果・得られた知見等】 システム導入後のワクチン温度管理に関連するトラブルの発生：0件	政策企画部	○
18	その他	西日本電信電話株式会社 大阪ガス株式会社	【目的】 道路下埋設設備を保有する各インフラ事業者の施工協議などの申請・受付事務の効率化の実証実験 【概要】 WEB受付システムを活用し、施工協議などの共同受付を実施	全市	R3. 6. 30	R3. 7～R3. 9	【成果・得られた知見等】 ・申請側として、WEB上に申請書類をアップロードするだけの申請で済むこと、受理側として時間制約を受けずに確認等できることから、業務効率化の有用性を確認できた。 ・実証実験において抽出したシステム等の課題解消の確認を行った。	上下水道局経営企画室 政策企画部	―
19	コミュニティ	大阪市高速電気軌道株式会社 南海電気鉄道株式会社 西日本旅客鉄道株式会社 大阪支社 PIAZZA株式会社	【目的】 SNSを活用した地域コミュニティの活性化及び北区の魅力や区行政の発信の強化等 【概要】 北区役所と鉄道各社、PIAZZA（株）が連携し、地域SNS「ピアzza」内に北区エリアを開設して地域の活性化を進める	北区	R3. 6. 30	R3. 7 (実装からスタート)	【登録者数（令和7年10月31日時点）】 2,100名以上（北区） 【成果・得られた知見等】 ユーザー同士の交流に加え、行政や連携する鉄道会社が情報発信をすることで、北区におけるコミュニティ活性化や沿線価値・魅力向上をめざす取組に繋がった。	北区役所企画総務課 政策企画部	○

スマートシティに関連するプロジェクト一覧

No	分野	連携事業者	プロジェクト内容	実施エリア	報道提供時期	実施時期 (実証事業)	プロジェクトの結果及び進捗	所管課	実装○ 未実装― 実証中△ イベント等■
20	ヘルスケア	大阪大学 石黒教授 大阪大学 西尾教授	【目的】 高齢者の社会参画 【概要】 「泉北アバタープロジェクト」として各種実証プロジェクトを実施（区役所、学校等） ※令和6年12月より「堺アバタープロジェクト」に改称	泉北NT等	R3. 7. 6	R3. 7～R5. 10	【実施場所】 南区役所、南区小学校、いずみがおか広場、ビッグバン、支援学校他 【結果（参加者満足度等）】 アバター操作者の高齢者、対象となる子ども等から良好の評価を得ている。 【成果・得られた知見等】 様々なシーン・場所での活用が可能であり、参加者にも満足頂けることが分かった。	政策企画部他 （実施場所毎に各部署と連携）	―
21	ヘルスケア	堺市社会福祉協議会 西日本電信電話株式会社 株式会社NTTドコモ 認知症介護指導者	【目的】 ICTを活用した認知症本人・家族等に対する交流の場の提供 【概要】 ・オンライン会議システムによる認知症本人・家族等を対象とした交流会を開催 ・公民協働でデジタル・ディバイド対策を実施（操作講習会、通信機器貸出、操作サポート）	全市	R3. 7. 20	R3. 11	【参加者数】 延人数63名・実人数26名 【結果（参加者満足度等）】 参加者満足度93% 【成果・得られた知見等】 今後も同様の事業を展開する上では、操作面・環境面での参加者へのサポートを行うことが必要であると考えられる。	長寿支援課 政策企画部	―
22	ヘルスケア	西日本電信電話株式会社 NTT PARAVITA株式会社 パラマウントベッド株式会社 大阪大学大学院医学系研究科	【目的】 高齢者のゆるやかな見守り・健康管理 【概要】 あんしん睡眠プロジェクト：睡眠センサーを活用したひとり暮らし高齢者等の見守り・健康管理の実証事業	全市	R3. 8. 3	R3. 11～R5. 3	【参加者数】 212名 【結果（参加者満足度等）】 実証参加者から、「月1回、保健師等の専門職に診てもらえる安心感があった」「保健師が日々のデータを確認していることが生活への安心につながった」「日々の睡眠状況を遠方に住む家族も確認できるため、見守りのメリットを実感できた」等の感想があった。 【成果・得られた知見等】 レポート送付や保健師等の電話での健康アドバイスを通じて、睡眠の開始・起床時間の安定化や早寝早起きの習慣化、睡眠時間の増加等の成果が見られた。	政策企画部 長寿支援課	○
23	ヘルスケア	株式会社アシックス 南海電気鉄道株式会社 〔健康増進プログラム「ASICS HEALTH CARE CHECK」〕	【目的】 健康行動の継続、認知症予防 【概要】 株式会社アシックスのアプリと運動指導により健康行動の継続と認知症の早期発見を実証	泉北NT等	R3. 9. 29	R3. 10～R4. 3	【参加者数】 24名 【結果（参加者満足度等）】 「実証に参加してよかった」と答えた人の割合が96%だった。 【成果・得られた知見等】 ・アプリと運動指導の組み合わせにより、行動変容及び実証に参加した高齢者の心身の健康状態の改善が見られた。 ・アプリの使用方法的のレクチャー等、デジタル・ディバイド対策も併せて実施し、参加者の継続性を担保できた。	政策企画部 泉北ニューデザイン推進室	○
24	ヘルスケア	株式会社Moff 〔モフライフと CogEvo 活用のフレイル・認知症・生活習慣病 予防サービスの実証プロジェクト〕	【目的】 健康行動の継続、認知症予防 【概要】 株式会社Moffが提供するオンラインでの運動・認知トレーニングや健康相談、健康講義、交流会等による健康状態改善効果を実証	泉北NT等	R3. 9. 29	R3. 10～R4. 3	【参加者数】 19名 【結果（参加者満足度等）】 参加者からは、「運動習慣が身についた」「精神的にもいい効果があった」という声等が聞かれた。 【成果・得られた知見等】 実際のジムや体操教室では他の参加者の動きが気になる方でも、オンラインであれば他人の動きを気にしなくて続けられる等、オンラインならではの効果が見られた。	政策企画部 泉北ニューデザイン推進室	○
25	モビリティ	やさいバス株式会社	【目的】 地産地消の推進（SDGs） 【概要】 堺産農産物の従来の流通ルートに加え、市民等が堺産と分かって購入、利用できる地域内流通の仕組みをICTを活用して構築	全市	R3. 10. 12	R3. 12～R4. 1	【成果・得られた知見等】 ・令和4年2月から本格運行を開始した。 ・「堺のめぐみ」を含む府内南部の農産物を府内南部のイオンに出荷している。	農水産課 政策企画部	○

スマートシティに関連するプロジェクト一覧

No	分野	連携事業者	プロジェクト内容	実施エリア	報道提供時期	実施時期 (実証事業)	プロジェクトの結果及び進捗	所管課	実装○ 未実装― 実証中△ イベント等■
26	モビリティ	パーソナルモビリティ事業者等	【目的】 ・法的制約の多いパーソナルモビリティについて機運を高める ・使用用途についてのニーズ把握 【概要】 ・イベント「大道筋社会実験」の開催 ・パーソナルモビリティを中心に、次世代モビリティの体験実証を実施 ・公道で試乗いただき、走行中の安全性や快適性、乗り手の費用負担可能性等を検証	堺区	R3. 10. 26	R3. 11	【参加者数】 体験件数：137人 【成果・得られた知見等】 ・操作性、快適性、安全性ともに高い評価を得られるなど、満足度は高かった。 ・観光周遊・日常利用等の利用シーンや、一時利用・一日利用といった利用形態・費用感などを確認することができた。	政策企画部	■
27	リモートワーク	南海電気鉄道株式会社（Liefvice IZUMIGAOKA） 〔泉北リモートワーク拠点整備推進事業〕	【目的】 リモートワーク拠点の開設 【概要】 泉北リモートワーク拠点整備推進補助金を活用し、泉ヶ丘駅前にリモートワーク拠点を整備	泉北NT	R3. 11. 17	R3. 12 (実装からスタート)	【成果・得られた知見等】 ビジネス対応型のリモートワーク拠点を整備することができた。	泉北ニューデザイン推進室 政策企画部 南区役所企画総務課（旧南区区政企画室）	○
28	リモートワーク	株式会社大倉（Design Ohasu Days） 〔泉北リモートワーク拠点整備推進事業〕	【目的】 リモートワーク拠点の開設 【概要】 泉北リモートワーク拠点整備推進補助金を活用し、大蓮公園内にリモートワーク拠点を整備	泉北NT	R3. 11. 17	R4. 3～R6. 7	【成果・得られた知見等】 カフェ併設型のリモートワーク拠点を整備することができた。	泉北ニューデザイン推進室 政策企画部 南区役所企画総務課（旧南区区政企画室）	○
29	リモートワーク	株式会社愛のケア工房はるか（槇塚台まち・ひと・しごと創造ステーション HARUKA）〔泉北リモートワーク拠点整備推進事業〕	【目的】 リモートワーク拠点の開設 【概要】 泉北リモートワーク拠点整備推進補助金を活用し、槇塚台近隣センターにリモートワーク拠点を整備	泉北NT	R3. 11. 17	R4. 3～R6. 3	【成果・得られた知見等】 近隣センター立地型のリモートワーク拠点を整備することができた。	泉北ニューデザイン推進室 政策企画部 南区役所企画総務課（旧南区区政企画室）	○
30	その他	南海不動産株式会社 〔公民共創イニシアチブ推進事業〕	【目的】 公共空間を活用したSENBOKUスマートシティ構想の実現 【概要】 大蓮公園をフィールドとして、太陽電池を電源とするWi-Fi通信設備を整備し、リモートワーク、コミュニティ・健康などのサービス・コンテンツを提供、公園利用者の満足度や市民の生活の質の向上を検証	泉北NT	R3. 12. 1	R4. 3～R6. 3	【結果】 令和4年3月から令和6年3月の事業期間中のWi-Fiへのアクセスは1,500件を超え、コロナ禍において、屋外でWi-Fiを利用できる環境を整えることで新たな働き方を提供できた。 【成果】 Wi-Fiを活用し、大蓮公園内で開催されるマルシェにあわせて子育て向けにイベント等を実施するなど、大蓮公園の魅力向上に寄与できた。	泉北ニューデザイン推進室 政策企画部	―
31	その他	株式会社Stroly	【目的】 ICTを活用した観光魅力の発信 【概要】 位置情報と連動したスマート観光マップを制作し、アプリではなくブラウザで既存の地図と切り替えながら利用できるように公開する。イラスト地図のアクセス状況や機能の利用状況を検証し、観光マップの利用シーンを考察	堺区	R3. 12. 1	R4. 3～R6. 3	【令和3年度検証結果（R4. 3. 25～R4. 3. 31）】 アクセスユーザー数 714、アクセス回数 1,920 【令和4年度検証結果（R4. 4. 1～R5. 3. 31）】 アクセスユーザー数 9,834、アクセス回数 12,911 【令和5年度検証結果（R5. 4. 1～R6. 3. 31）】 アクセスユーザー数 6,885、アクセス回数 8,605 ユーザーのアクセス元は、大阪府が最多で、次いで東京都、京都府の順となり、わずかではあるが海外からのアクセスもみられた。また、マップに掲載されているスポット情報のクリック数からユーザーの関心が高いスポットが確認できた。	観光推進課 政策企画部	○
32	ヘルスケア	一般社団法人セーフティネットリンケージ	【目的】 認知症患者や家族支援者等の支援 【概要】 ・個人情報が入力が不要であり、利用者が気軽に活用できる音声SNSを活用した、認知症患者や家族介護者、介護施設スタッフ等を対象とした支援の有効性の検証 ・ピアカウンセリングのためのオンラインサロン ・社会福祉法人・支援団体等による音声配信 ・介護施設内での関係者間インタビューの配信	全市	R4. 1. 25	R4. 8～R5. 9	【実証説明会】 R4年11月22日 【参加者数】 介護施設関係者 48名 【結果】 説明会への参加施設の中から、実証の参加施設を募り、3カ月の実証を行った。参加者からは、「医療関係者や認知症当事者の話を聞くことができ、ほしい情報を得ることができてよい」「当事者の思いを共有できてよい」という評価を得られた。	政策企画部 長寿支援課	―

スマートシティに関連するプロジェクト一覧

No	分野	連携事業者	プロジェクト内容	実施エリア	報道提供時期	実施時期 (実証事業)	プロジェクトの結果及び進捗	所管課	実装○ 未実装△ 実証中△ イベント等■
33	コミュニティ	泉北高速鉄道株式会社 南海電気鉄道株式会社 西日本旅客鉄道株式会社 大阪支社 阪堺電気軌道株式会社 PIAZZA株式会社	【目的】 SNSを活用した地域コミュニティの活性化及び各区の魅力や区行政の発信の強化等 【概要】 堺・中・東・西・美原区役所と鉄道各社、PIAZZA（株）が連携し、地域SNS「ピアッザ」内に各区エリア（東区と美原区は同一エリア）を開設して地域の活性化を進める	堺区 中区 東区 西区 美原区	R4. 2. 24	R4. 3 (実装からスタート)	【登録者数（令和7年10月31日時点）】 4,100名以上（堺・中・東・西・美原区） ※中区と南区は同一エリアのため南区登録者数含む 【成果・得られた知見等】 ユーザー同士の交流に加え、行政や連携する鉄道会社が情報発信をすることで、堺・中・東・西・美原区におけるコミュニティ活性化や沿線価値・魅力向上をめざす取組に繋がった。	堺区役所企画総務課 中区役所企画総務課 東区役所企画総務課 西区役所政策推進室 美原区役所企画総務課 政策企画部	○
34	モビリティ	アルプスアルパイン株式会社 エヌ・ティ・ティ・コムウェア株式会社 株式会社ゼンリン 東京海上日動火災保険株式会社 福伸電機株式会社 〔電動カートシェアリング実証プロジェクト〕	【目的】 高齢者の新たな移動支援等の構築 【概要】 南区原山台にて、電動カートのシェアリング実証プロジェクトを実施。主に高齢者に使用いただき、アンケート及び走行データ等から、ニーズや受容性、外出促進等、利用者への有効性を検証	南区	R4. 5. 23	R4. 6	【参加者数】 当初目標を上回る延べ100名超の利用 【結果（参加者満足度等）】 周辺への外出・移動が楽になる事と、便利に使うことができる乗物として肯定的な意見が多かった。 【成果・得られた知見等】 電動カートのシェアリングサービスの満足度は非常に高く、移動課題の解決と外出促進に繋がる有効なサービスであるが、シェアリングサービスの運用主体や事業採算性などの課題がある。	泉北ニューデザイン推進室 政策企画部	—
35	モビリティ	長谷川工業 〔電動キックボードシェアリング実証プロジェクト〕	【目的】 泉北ニュータウン地域における多様な移動手段を確保し、暮らしやすく、楽しんで移動できる環境整備をめざす 【概要】 電動キックボードのシェアリング実証プロジェクトを実施	南区	R4. 10. 26	R4. 10～R5. 6	シェアリングシステムを提供する協力企業がシステム運営を停止したため実証事業を終了。実証終了までの8ヶ月間で登録者数557人、合計利用回数572件	泉北ニューデザイン推進室 政策企画部	—
36	ヘルスケア	住友生命保険相互会社 株式会社PREVENT	【目的】 働き盛り世代や高齢世代の特定健康診査の受診率向上、生活習慣病の発病や重症化の予防、健康増進活動によるQOLの維持・向上 【概要】 住友生命保険相互会社が提供する健康増進型保険「Vitality」の健康プログラムと、株式会社PREVENTが提供する医療データ解析「Myscope Personal」及び生活習慣改善支援プログラム「Mystar」を活用し、働き盛り向けの簡易検査や意識啓発を実施	全市	R4. 10. 27	R4. 12～R5. 10	【参加者数】 健康チェック会に154名の市民が参加 【結果（参加者満足度等）】 ・コアターゲット（国民健康保険被保険者40～60代のうち特定健診未受診かつレセプトデータが無い方）のうち、約60%が健診・医療への受診に繋がった。 ・Vitality 参加者の平均歩数が約2,000歩増加した。 ・Mystar参加者の予測疾病発生率が約10%低下した。 【成果・得られた知見等】 ・参加者の行動変容に繋がる取組として一定の効果が得られた。 ・健康チェック会が一定のニーズを持つイベントであることが確認できた	政策企画部 健康推進課	—
37	その他	scheme verge株式会社 一般社団法人関西イノベーションセンター OSPF （堺市の魅力を愉しむデジタル周遊パスポート「堺レトロさんぽバス」）	【目的】 仕事帰りや休日に堺市の魅力を愉しんでいただき、市内の周遊増加をめざす 【概要】 デジタル周遊パスポート「堺レトロさんぽバス」を発売	全市	—	R4. 10～R5. 4	【成果・得られた知見等】 市の予算をかけることなく、観光情報に関するデータを得ることができた。周遊アプリを活用して、利用者の位置情報をもとに分析を行うことで、今後の市内周遊施策の検討に寄与した。 【参考】 利用チケット数129件 購入数：62件 ユーザー数：45人	広報課（旧広報戦略推進課）	—
38	リモートワーク	自家焙煎工房カフェ little island三原台公園前店（Café little island） 〔泉北リモートワーク拠点整備推進事業〕	【目的】 リモートワーク拠点の開設 【概要】 泉北リモートワーク拠点整備推進補助金を活用し、三原台近隣センターにリモートワーク拠点を整備	南区	—	R4. 10 (実装からスタート)	【成果・得られた知見等】 近隣センター立地型のリモートワーク拠点を整備することができた。	泉北ニューデザイン推進室	○

スマートシティに関連するプロジェクト一覧

No	分野	連携事業者	プロジェクト内容	実施エリア	報道提供時期	実施時期 (実証事業)	プロジェクトの結果及び進捗	所管課	実装○ 未実装― 実証中△ イベント等■
39	コミュニティ	西日本電信電話株式会社 株式会社NTTマーケティング ングアクトProCX (ICTを活用した市民共 創実証プロジェクト)	【目的】 「市民と共に創る」という視点で、泉北の若年層の声を収 集・分析し、コンソーシアム会員が取り組む事業に活用 【概要】 オンラインAI議論システム「D-Agree」を活用し、泉北高校軽 音楽部の学生が自分の地域に対する声を集める。ディスカッ ションで交わされた議論データを専門のアナリストが分析 し、コンソーシアムのサービス創出にも役立てる	南区	R4. 11. 1	R4. 11～R5. 2	【参加者数】 45名（泉北高校 軽音楽部員） 【結果（参加者満足度等）】 参加した生徒たちの97.5%が参加して良かった、95%が泉北ニュータウン地域の課題につ いてより考える機会になったと回答。また、最終発表会に参加したコンソーシアム会員 団体（16団体）からはとても満足（87.5%）、満足(12.5%)と満足度100%を達成した。 【成果・得られた知見等】 共創プロジェクトへの参加を通して、泉北に愛着を持ち、泉北の活性化を主導する SENBOKUサポーターが誕生したことや若い世代の意見をICTを活用して収集できることが 分かった。また、ダイレクトな住民の意見を回収し、分析することの意義や価値を検証 する機会となった。	泉北ニューデザイン推進室 政策企画部	―
40	コミュニティ	PIAZZA株式会社 (地域コミュニティアプ リ「ピアッツァ」の「南区 エリア」を新たに開設)	【目的】 SNSを活用したデジタルコミュニティの形成 【概要】 地域コミュニティアプリ「ピアッツァ」の「南区エリア」をす でに開設済みの中区エリアと合わせ「中区・南区エリア」と して開設	南区	R4. 11. 21	R4. 11 (実装からス タート)	【登録者数（令和7年10月31日時点）】 1,300名以上 ※中区と南区は同一エリアのため中区登録者数含む 【成果・得られた知見等】 ユーザー同士の交流に加え、行政や連携する鉄道会社が情報発信をすることで、南区エ リアにおけるコミュニティ活性化や沿線価値・魅力向上をめざす取組に繋がった。	南区役所企画総務課（旧南区区政企 画室） 政策企画部	○
41	その他	一般社団法人META SAKAI (メタパス空間を活用 し、堺まつり及び堺の魅 力の発信)	【目的】 WEB3.0 やメタパスなどの新たな技術を活用し、これまで獲 得できていなかったターゲットへの新たなアプローチの可能 性を探るため 【概要】 一般社団法人 META SAKAI が運営するメタパス空間を活用 した魅力発信のイベントを実施	全市	R4. 12. 12	R4. 12	【参加者数】 52名 【結果（参加者満足度等）】 アンケート回答数：22件 ・市外在住者の割合は50%であった。 ・メタパスで開催するイベントについて、「ぜひ参加したい」又は「内容によって参 加したい」と答えた人の割合が86.3%であった。 【成果・得られた知見等】 ・メタパス空間でのイベント実施について、魅力を感じた方や参加に前向きな方がお り、一定のニーズが確認できた。 ・堺市外在住の参加者の約半数から「実際に堺まつりや堺観光に来てみたい」との声が あり、魅力発信として一定の効果があった。	政策企画部	■
42	モビリティ	南海電気鉄道株式会社 南海バス株式会社 (AIオンデマンドバス実 証〔第1弾〕)	【目的】 泉北ニュータウン地域における住民の移動課題の解決と利便 性の向上に向けた新たな移動手段の検討 【概要】 対象エリアにおいてワンボックス車両（客席 8名）による小 回りのきく輸送サービスを提供することで住民の移動課題の 解決や移動利便性の向上、特に高齢者の外出促進に繋がるか など、移動ニーズの調査および検証を実施	南区	R4. 12. 20	R5. 1～R5. 3	【利用数】 861回（14.4人/日）※目標1,000回 【結果】 限られたエリアでの実証であったが、約44%が複数回利用し、約91%がアンケートで「や や満足以上」を回答するなど、サービスは受け入れられたものと評価できる。 また、約96%が「外出機会が増える」と回答したことから、外出促進への貢献度は大き い。 【成果・得られた知見等】及び【実装に向けた現状】 一定のニーズを確認できた。 また、予約システムの使いやすさの評価は高いものの、高齢者にとって車両の乗降のし づらさが課題となった。	泉北ニューデザイン推進室 政策企画部	―
43	ヘルスケア	大阪大学 山川准教授 (ねむりの見守り)	【目的】 高齢者の緩やかな見守り・健康管理 【概要】 R3～4に本市で実施した実証結果を踏まえ、AMEDの補助金を阪 大が取得し、全国スケールでマットセンサーを活用したひと り暮らし高齢者等の見守り・健康管理の実証事業を実施	全市	―	R5. 7～R6. 3	【参加者数】 全国で516名（うち堺市67名） 【結果（参加者満足度等）】 実証参加者からの感想を通して、現状の睡眠の把握につながったほか、睡眠について考 えるきっかけや睡眠の大切さの再確認につながったものと考えられる。 【成果・得られた知見等】 全国での結果から、睡眠効率の向上や不眠傾向の改善の効果が見られたほか、電話での 就寝環境や状況、生活習慣等に関する保健指導を通して、睡眠状態の改善につながる事 例も多く見られた。	政策企画部 長寿支援課	○

スマートシティに関連するプロジェクト一覧

No	分野	連携事業者	プロジェクト内容	実施エリア	報道提供時期	実施時期 (実証事業)	プロジェクトの結果及び進捗	所管課	実装○ 未実装― 実証中△ イベント等■
44	その他	堺DX推進ラボ	【目的】 地域全体の生産性・付加価値額を高めること 【概要】 市内企業のデジタル化および DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進を、市内の公的支援機関や金融機関、IT企業等と連携し、地域ぐるみで支援する体制を構築、各種支援を実施	全市	R5. 10. 19	R5. 4～R5. 10	【参画機関】 公的支援機関：堺市産業振興センター、堺商工会議所、堺納税協会、さかい新事業創造センター（S-Cube） 金融機関：池田泉州銀行、大阪信用金庫、大阪シティ信用金庫、大阪信用保証協会、関西みらい銀行、紀陽銀行、商工組合中央金庫、日本政策金融公庫、みらいリーナルパートナーズ IT企業：西日本電信電話株式会社、シャープ 大学・教育機関：大阪公立大学スーパーシティ研究センター 事務局：堺市 ※令和7年1月16日現在	地域産業課	○
45	ヘルスケア	SENBOKUスマートシティ コンソーシアム 近畿大学 （カレッジラボ）	【目的】 学生目線での、ICTを活用した泉北のヘルスケア分野の地域活性化拠点の魅力向上策の検討 【概要】 医学部1年生の授業の一環で、泉北のヘルスケア分野の地域活性化拠点のフィールドワークとワークショップを実施し、学生が各拠点の魅力向上策を提案	南区	R5. 6. 2	R5. 6～	令和7年度の概要 【参加者数】 近畿大学医学部1年生108名 協力：吹田市、健康医療都市まちづくり本舗（アシックススポーツファシリティーズ株式会社、シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社、株式会社日比谷アメニス 大阪支店、テルウェル西日本株式会社 関西支店）、ニプロ株式会社 【結果（参加者満足度等）】 14チームに分かれて、地域住民の主体的な健康増進活動を支援する取組を考え発表する提案発表会を実施した。 【成果・得られた知見等】 健康増進に向けた具体的な取組方法に関する提案や、学生と地域住民が協働するイベントの企画案など多様なアイデアを得ることができた。	泉北ニューデザイン推進室 政策企画部	■
46	コミュニティ	大阪経済大学・南区住民 （スマホサポーターによるスマホ出前講座）	【目的】 南区住民のICTリテラシーの向上と外出促進 【概要】 大阪経済大学が南区住民から構成されるスマホサポーターと連携し、依頼があった地区に出向いて、マンツーマンでのスマホ講座を実施	南区	―	R5. 6～	【実施数・参加者数】 R5年度 16回・117名 R6年度 11回・98名（内リピータ32名） ※個人参加者向けスマホ講座 3回・21名 【結果（参加者満足度等）】 ●令和5年度 ・参加者の95%の方が大変満足・満足と回答し満足度は高い。 ・サポーターからは、社会との関りが持てた、やりがいを感じたとの声があった。 ●令和6年度 ・参加者の97%の方が大変満足・満足と回答し満足度は高い。 ・「スマホでできることが増えましたか」の問いに100%の方が「増えた」と回答があった。 ・「今後もっとスマホを活用したくなりましたか」の問いに100%の方が「はい」あるいは「少し」と回答があった。 【成果・得られた知見等】 同年代中心の住民でもあるサポーターのマンツーマン対応により、参加者の満足度は高い。また、サポーターがやりがいや社会参加意欲、教えることの喜びを感じ、自身のスキルアップに繋がっている。	泉北ニューデザイン推進室 政策企画部	■
47	ヘルスケア	NTTファイナンス株式会社 （デジタルエンディング ノート実証プロジェクト）	【目的】 終活の促進と重要性に関する意識啓発 【概要】 南区住民を対象としたデジタルエンディングノートアプリの無料利用	南区	R5. 7. 24	R5. 8～R6. 1	【参加者数】 547名 【結果（参加者満足度等）】 実証参加を契機として「今後のことを家族等と話した」「話そうと思った」方の割合は約80%であった。 【成果・得られた知見等】 終活におけるデジタル活用について実証参加者から一定の評価を得られた。高齢者への対面サポート等、デジタルでの終活を続けやすいアナログも含めた仕組み作りが重要だという知見が得られた。	泉北ニューデザイン推進室 政策企画部 長寿支援課	○
48	エネルギー	堺エコライフポイント事業 参画事業者	【目的】 市民の環境行動変容を促進し、ライフスタイルを脱炭素化すること 【概要】 専用アプリ（堺エコライフポイントアプリ）ユーザの環境行動実践に対して、インセンティブとして「堺エコライフポイント」を付与することで、環境行動を促進。「堺エコライフポイント」は、電子マネー等への交換やプレゼント品抽選への応募に利用可能。	全市	R4. 11. 24 R5. 9. 22 R6. 6. 21 R7. 6. 23	R4. 11 （実装からスタート）	【アプリ登録ユーザ数等】 アプリ登録ユーザ数：9,295人（R7. 2. 28現在） 参加店舗等（ポイント取得スポット）：1,149か所（R7. 2. 28現在） 協賛企業：29者（R6年度） 【成果・得られた知見等】 CO ₂ やごみの削減に寄与。また、アプリユーザに対する参加店舗等や協賛企業に関するPRに寄与できた。	環境政策課	○

スマートシティに関連するプロジェクト一覧

No	分野	連携事業者	プロジェクト内容	実施エリア	報道提供時期	実施時期 (実証事業)	プロジェクトの結果及び進捗	所管課	実装○ 未実装― 実証中△ イベント等■
49	スマートタウン	南海電気鉄道株式会社 泉北高速鉄道株式会社 株式会社ジェイアール東日本企画 (ベビーカーシェアリングサービス「ベビカル」実証プロジェクト)	【目的】 子育て世代が子どもと一緒に移動しやすい環境の構築 【概要】 予約ができるベビーカーレンタルサービス	南区	R5. 9. 21	R5. 10～	【利用数】 26件（月平均1. 6件） 【成果・得られた知見等】及び【実装に向けた現状】 難波エリアでの実績と比較して利用件数が少ない状況。郊外立地ではベビーカーのレンタルサービスへは需要が見込めないように思料される。	泉北ニューデザイン推進室 政策企画部	△
50	モビリティ	南海電気鉄道株式会社 南海バス株式会社 (AIオンデマンドバス実証〔第2弾〕)	【目的】 泉北ニュータウン地域における住民の移動課題の解決と利便性の向上に向けた新たな移動手段の検討 【概要】 対象エリアにおいてワンボックス車両による小回りのきく輸送サービスを提供することで住民の移動課題の解決や移動利便の向上、特に高齢者の外出促進に繋がったかなど、移動ニーズの調査および検証を実施	南区	R5. 9. 5	R5. 10～R6. 1	【利用数】 3, 253回（28人/日）※目標6, 000回 【結果】 目標回数には達しなかったが一定のニーズを確認でき、アプリ予約率も60%から65%へと向上した。また、オンデマンドバスは移動が便利かの質問には、97%の人が「便利になった」「やや便利になった」と回答した。 【成果・得られた知見等】 相乗り率の向上など利用者の増加、アプリ予約率の向上などを含め事業性の確立が課題である。	泉北ニューデザイン推進室 政策企画部	―
51	その他	SENBOKUスマートシティコンソーシアム (わくわく！体験！SENBOKUスマートシティフェスタ2023)	【目的】 泉北ニュータウン地域におけるスマートシティ及びSENBOKUスマートシティコンソーシアムの取組の普及啓発 【概要】 次世代モビリティやヘルスケア分野をはじめとした様々なスマートシティのコンテンツの展示・体験会の実施	南区	R5. 10. 16	R5. 10	【結果】 SENBOKUスマートシティコンソーシアム会員など26団体が、ICT等を活用した技術を住民が体験・体感できるブースを出展。SENBOKUスマートシティコンソーシアムの知名度向上を図り、住民にスマートシティサービスを実感いただく機会を創出できた。	泉北ニューデザイン推進室 政策企画部	■
52	その他	トヨタ自動車株式会社 選択した車両のドライブレコーダー映像を消防活動に活用する	【目的】 救急事案に対する効果的な対応 【概要】 119番通報だけでは現場状況が分かりにくい火災や交通事故等の緊急を要する事案に対して、現場付近を走行する車両のドライブレコーダーの映像を閲覧し、消防活動に活用する	全市	R5. 10. 17	R5. 10～R7. 3	【ドラレコ設置台数】 管内を走行するバスやタクシー、トラックなど約400台 【定量評価】 ・システム活用した594件のうち243件（41%）で映像を閲覧できた。 ・243件のうち198件（81%）が現場到着前の映像であった。 ・198件のうち165件（83%）が消防活動に役立った。 【奏功事例】 ・高速道路上での多重事故で適切な部隊投入及び現場到着時間の短縮 ・交通事故による重症外傷者への適切な部隊投入及び最適な処置による被害の軽減 ・発生場所が不確定な交通事故現場の早期特定による現場到着時間の短縮 【効果の検証】 ・消防車、救急車等が現場到着するまでに得た情報により、迅速かつ適切な活動方針や部隊の投入、出場経路選定などに繋がり被害を最小限に抑えることができた。 ・ドライブレコーダーの映像は消防活動に有益な情報であると判断できた。	通信指令課	○
53	ヘルスケア	大阪大学 石黒教授・西尾教授 大阪経済大学 サンビア 南海電気鉄道株式会社 (泉北アバタープロジェクト) ※令和6年12月より「堺アバタープロジェクト」に改称	【目的】 サンビアに開設した大阪大学のアバター実証拠点を活用した高齢者の社会参画 【概要】 ・健康講座等を活用したアバターの操作ボランティア募集とグルーピング ・当該ボランティアによるアバターを活用した各種実証プロジェクトを実施	南区	R5. 6. 2	R5. 11～	【参加者数（令和6年3月末時点）】 アバターの遠隔操作のボランティア参加者数75名 【結果（参加者満足度等）】 アバターの遠隔操作に関心を示し、操作体験会に繰り返し参加する住民が多数いる。 【成果・得られた知見等】 高齢者の関心が高い健康講座等のコンテンツと組み合わせることで、多くの方にアバターの遠隔操作に興味をもっていただき、実際に体験していただくことができています。	政策企画部 泉北ニューデザイン推進室	△
54	スマートタウン	サンケイリビング新聞社 (地域WEBプラットフォーム「まちっと堺・泉北」の開設)	【目的】 地域情報の発信、地域住民や地元企業等の繋がり創出及び地域の経済活性化 【概要】 WEBプラットフォーム「まちっと堺・泉北」の開設と合わせて、交流イベント開催、ご当地商品の開発や地元店舗の応援支援の実施	南区	―	R5. 11～R6. 3	【結果】 地域共創プラットフォーム「まちっと堺・泉北」の開設以降、泉北ニュータウン地域に関連する情報を1日1記事発信。実証後期に実施したアンケートでは、配信記事で紹介したイベントへの参加や店舗等へ訪問が発生しており、地域との繋がりが創出された。	泉北ニューデザイン推進室 政策企画部	○

スマートシティに関連するプロジェクト一覧

No	分野	連携事業者	プロジェクト内容	実施エリア	報道提供時期	実施時期 (実証事業)	プロジェクトの結果及び進捗	所管課	実装○ 未実装― 実証中△ イベント等■
55	データ連携	大阪公立大学 西日本電信電話株式会社 株式会社NTTマーケティングアクトProCX (VoCを活用した南区 ウェルビーイング見える 化プロジェクト)	【目的】 市民の感じるウェルビーイング像やニーズの見える化と施策 への反映 【概要】 ・南区住民が感じるウェルビーイングの他市・他区との比 較・分析とアンケート実施によりニーズを明らかにする ・結果は区政策会議に報告し、議論のエビデンスとして活用	南区	R5. 12. 11	R6. 1～R6. 3	【参加者数】 当初目標を上回る延べ593名から回答 【結果（参加者満足度等）】 「娯楽施設がある」「自慢できる自然景観がある」など肯定的な意見が多かった。 【成果・得られた知見等】 南区政策会議において、「ウェルビーイング向上に向けた取組」や「南区ウェルビーイ ングの方向性」を議論するエビデンスとして活用した。	泉北ニューデザイン推進室 政策企画部	■
56	その他	イニシアチブ事業 muuv links (ICT を活用した「さか い SDGs 推進プラット フォーム会員」同士の マッチング強化)	【目的】 公民連携によるSDG s の推進 【概要】 「さかいSDGs推進プラットフォーム」専用のオンラインコ ミュニティを作成し、会員同士による主体的なマッチングや 情報発信を効果的に行う	全市	R5. 12. 14	R6. 2～	さかいSDGs推進プラットフォーム会員同士のオンライン上のコミュニティツールとして 「さかいSDGsオンラインサロン」を令和6年5月から運用開始。 【登録者数（令和7年6月時点）】 358会員 【活用実績（令和6年5月の運用開始から令和7年6月時点まで）】 会員間の連携による取組件数：35件 【成果・得られた知見等】 会員相互のネットワーク形成や連携した取組の組成などSDGsの推進に効果的と考えられ るため、今後のさかいSDGs推進プラットフォームの基幹ツールとして活用する。	政策企画部	△
57	ヘルスケア	南海電気鉄道株式会社 大阪公立大学 加登講師 (デジタルきっぷ活用に よる生活の質の向上等 に関する実証)	【目的】 デジタルきっぷの活用による健康や社会的活動に関する効果 の検証 【概要】 アプリ「へるすまーと泉北」利用者にデジタルきっぷとして 活用できるポイントを付与し、行動変容や主観的評価の変容 を検証	南区	R5. 12. 19	R6. 1～R6. 3	【参加者数】 900名 【結果（参加者満足度等）】 介入群（1,000ポイント補助）は、対照群と比較して、平均159.73 歩／日増加。子育て 世代では、平均711.43 歩／日増加しており、1000ポイント補助は効果的である一方、中 年世代の平均歩数は398.92歩／日減少した。高齢者世代では387.83歩／日ほど増加させ たが有意な変化ではなかった。 ※詳細は以下に学術論文に掲載https://doi.org/10.1016/j.jth.2025.102126	泉北ニューデザイン推進室 政策企画部	―
58	データ連携	西日本電信電話株式会社 株式会社NTTデータ関西 大阪ガス株式会社 (公民連携アプリ 「堺・せんぼくポケッ ト」の実証プロジェク ト)	【目的】 泉北ニュータウン地域住民の日常生活に密着したサービスや 地域活動の情報をお届けする地域ポータルアプリの構築 【概要】 小学校ホームページの更新情報や、自治会、商業施設のHPや SNS（instagram, facebook）を集約した地域の点と点をつなぐ ポータルアプリ。利用者の属性や興味関心に合わせて、ひと りひとりの住民に地域情報を届ける	南区	R6. 1. 29	R6. 1～	【ダウンロード者数（令和7年6月18日時点）】 1,422名 【成果・得られた知見等】及び【実装に向けた現状】 令和6年度に100名のモニターを集め、アンケートを実施。 アンケート結果を受け、アプリ機能拡充を実施する予定。	泉北ニューデザイン推進室 政策企画部	△
59	ヘルスケア エネルギー	大阪ガスセキュリティ サービス株式会社 大阪ガス株式会社 NTT PARAVITA株式会社 西日本電信電話株式会社 (あんしん見守りサポー ト【第1弾】)	【目的】 高齢者が住み慣れた場所でいつまでも安心して過ごすことが できる地域社会の実現 【概要】 緊急通報装置に生活リズムや睡眠のモニタリングができるICT を活用した2種類のセンサーを組み合わせ、一体的にサービス を提供することによる高齢者の見守りや健康管理等の効果を 検証	南区	R6. 1. 29	R6. 3～R6. 6	【参加者数】 8名 【結果（参加者満足度等）】 ・センサーを用いた見守りについては、「安心感を感じた」「負担感は少なかった」な どの好意的な意見が多かった。また、睡眠レポートやアドバイスについても「役に立っ た」などの意見が多かった。 ・睡眠レポート到着等に合わせて、看護師から電話連絡を行うサービスについても検証 したところ、高齢者に安心感を与える傾向があった。 ・実証参加者を、既存の緊急通報システム利用者に限定したため、参加者が少なかっ た。 【成果・得られた知見等】 今回実証した見守りサービスの社会実装を見据えた場合、市場受容性、顧客ニーズの深 堀、異常探知時の対応フロー、サービス価格の相場観などの検討が必要との知見を得 た。	泉北ニューデザイン推進室 政策企画部 長寿支援課	―

スマートシティに関連するプロジェクト一覧

No	分野	連携事業者	プロジェクト内容	実施エリア	報道提供時期	実施時期 (実証事業)	プロジェクトの結果及び進捗	所管課	実装○ 未実装△ 実証中△ イベント等■
60	スマートタウン	南海電気鉄道株式会社 大阪公立大学 宮野准教授 (住民共創スマートシティに向けたスモールエリアでのニーズ・シーズマッチング)	【目的】 住民にとって身近なエリアでの課題の解決 【概要】 泉北ニュータウン地域で暮らしに身近な課題を解決しようと取り組んでいる住民や地域活動団体（市民ハブ人材）、SENBOKUスマートシティコンソーシアム、大阪公立大学が連携し、地域の住民が認識する課題とコンソーシアムの会員企業が有するICT技術を活用したサービスのマッチングを行い、当該課題の解決をめざす	南区	R6. 2. 8	R6. 2～R7. 3	【参加者数（令和6年3月末時点）】 市民ハブ人材と企業の交流・学びの場の参加者数73名 【結果（参加者満足度等）】 市民ハブ人材と企業の交流・学びの場の参加者満足度「かなり満足・まあ満足」と答えた割合が約97%であった。 【成果・得られた知見等】 本取組で連携する市民ハブ人材の公募では、泉北ニュータウン地域で活動する5名の住民から応募があった。スモールエリアでのニーズ・シーズの具体的なマッチングに向け、令和6年度に各市民ハブ人材との連携を進めていく。	泉北ニューデザイン推進室 政策企画部	—
61	モビリティ	OpenStreet株式会社 (電動サイクルシェアリング実証事業 泉北ニュータウン地域)	【目的】 多世代の様々な移動ニーズに対応した環境を整備し、移動利便性の向上に向けた新たな移動手段を検討するため 【概要】 電動サイクル（特定小型原動機付自転車）のシェアリング	南区	R6. 7. 9	R6. 7～R8. 3	特定小型原動機付自転車のシェアリング実証事業を開始。 実証開始時の貸出ステーション：18か所、貸出車両36台 あわせて、交通ルールや安全利用に関する周知や普及啓発を実施した。 ※使用する車両は特例特定小型原動機付自転車（最大時速6km）に切替可能	泉北ニューデザイン推進室 政策企画部	△
62	その他	SENBOKUスマートシティコンソーシアム (事業創出アイデア検討会)	【目的】 SENBOKUスマートシティコンソーシアム会員企業の連携を促進する 【概要】 有識者の講演とグループディスカッションにより会員同士の交流を促進し、事業創出につながる新しいアイデアを検討するイベント	南区	—	R6. 7～	令和6年度は19の企業・団体から32名が参加し、有識者が提唱する「共創モデル」を用いて、「若者や子育て世代に選ばれる街にしたい!」という共通目的達成に向けて、会員間でディスカッションを実施した。	泉北ニューデザイン推進室 政策企画部	■
63	ヘルスケア エネルギー	大阪ガスセキュリティサービス株式会社 大阪ガス株式会社 NTT PARAVITA株式会社 西日本電信電話株式会社 <あんしん見守りサポート（第二弾）>	【目的】 高齢者が住み慣れた場所でいつまでも安心して過ごすことができる地域社会の実現 【概要】 堺市が設置している緊急通報システムにICTを活用した生活リズムや睡眠をモニタリングができる2種類のセンサーを組み合わせることによる高齢者のゆるやかな見守りや健康管理をめざす	南区	—	R6. 9～R6. 11	【参加者数】 25名 (初回実証より、参加者増加かつ平均年齢低下) 【結果(参加者満足度等)】 ・参加者の78%が見守られている安心感を感じたが、見守りに負担感を感じる高齢者が微増した。 ・初回実証と比較して、睡眠レポートを受け取られた高齢者に、睡眠改善が見られた。 ・IoT機器を用いた情報発信サービスが好評であった。 【成果・得られた知見等】 ・参加者の平均年齢が低下したことで、まだ見守りが必要でないと思う方や、睡眠レポートを見て睡眠改善に取り組む住民が増えるなどの傾向がある。 ・IoT機器を用いた情報発信は独居高齢者には有効であった。	泉北ニューデザイン推進室 政策企画部 長寿支援課	—
64	ヘルスケア	SOMPOケア株式会社 (デジタルを活用した見守りあい体制づくり)	【目的】 泉北ニュータウン地域における健康増進のためのプログラム提供 【概要】 SENBOKUスマートシティコンソーシアム事業創出支援補助金を活用し、ケアが必要な人の何気ない様子を関係者で共有できるアプリ「ケアエール」を用いた見守り実証を実施	南区	—	R6. 9～R7. 3	【成果・得られた知見等】 ・スマートフォン教室参加者：延べ 64名（平均年齢75歳） ・公式ルームでゆるいつながりが出来た住民：50名 ・個別支援につなげた住民：10名 ・今後も竹城台東ボランティアクラブ主催で活動継続	泉北ニューデザイン推進室 政策企画部	○
65	モビリティ	南海電気鉄道株式会社 南海バス株式会社 (AIオンデマンドバス実証 [第3弾])	【目的】 泉北ニュータウン地域における住民の移動課題の解決と利便性の向上に向けた新たな移動手段の検討を進めるため 【概要】 対象エリアにおいてワンボックス車両による小回りのきく輸送サービスを提供することで住民の移動課題の解決や移動利便の向上、第1弾・第2弾の結果を踏まえ、目的地となるバスストップの増設等による利用ニーズの検証や協賛金獲得を含めた事業性を調査	南区	R6. 9. 11	R6. 10～R7. 2	【利用数】 5,962回（41人/日）※目標 50人/日・2台 【結果】 多数の説明会開催、地域紙への出稿、車体広告の導入など、利用者数増加・増収への取組に尽力し、利用者数は増加したが、現在のスキーム及び条件での実装化には課題が残った。	泉北ニューデザイン推進室 政策企画部	—

スマートシティに関連するプロジェクト一覧

No	分野	連携事業者	プロジェクト内容	実施エリア	報道提供時期	実施時期 (実証事業)	プロジェクトの結果及び進捗	所管課	実装○ 未実装― 実証中△ イベント等■
66	モビリティ	株式会社AMANE (モビリティハブ実証事業)	【目的】 移動利便性及び生活の質の向上 【概要】 オンデマンドバスやシェアリングモビリティ等複数の「移動サービス」と飲食や物販等の「生活サービス」が集約された交流拠点「泉北ぶらっと」を設置	南区	R6. 10. 24	R6. 11～R7. 2	【アンケート回答数】 368名（内利用したと回答した人は17名） 【結果】 泉北ニュータウン地域の居住地、商業施設で目的地となる場所、駅付近の3か所（ももポート・アクロスモール泉北・泉ヶ丘駅前UR竹城台）にモビリティハブを設置。アンケートで泉北ぶらっとの利用により「利便性が向上した」と回答した方は47.1%であった。しかし、モビリティハブの認知は広がったものの、オンデマンドバスや電動サイクルなどモビリティサービスを利用した人は少なかった。	泉北ニューデザイン推進室 政策企画部	―
67	その他	南区ふれあいまつり(スマートシティイベントコーナー)	【目的】 泉北ニュータウン地域におけるスマートシティ及びSENBOKUスマートシティコンソーシアムの取組の普及啓発 【概要】 次世代モビリティやヘルスケア、データ連携分野をはじめとした様々なスマートシティのコンテンツの展示・体験会の実施	南区	―	R6. 11	SENBOKUスマートシティコンソーシアム会員のICT等を活用した技術を住民が体験・体感できるブースを出展。SENBOKUスマートシティコンソーシアムの知名度向上を図り、アンケートを実施して、スマートシティサービスに関する新たなアイデアや改善点、住民ニーズ等を把握した。	泉北ニューデザイン推進室 政策企画部	■
68	モビリティ	株式会社AMANE トヨタカローラ南海株式会社 (歩行領域モビリティ「C+walk S、WHILL Model」シェアリング実証事業)	【目的】 移動利便性及び生活の質の向上 【概要】 C+walk SとWHILL Model C2をももポート（泉北桃山台一丁目団地）にて合計10台無料貸出を実施	南区	R6. 10. 24	R6. 11～R7. 1	【利用回数】 136回（利用後に毎回アンケート実施） 【結果】 外出機会についてのアンケートに回答した99名のうち、87%が外出機会が増加すると回答した。しかし、利用目的の項目では、135名のうち63%が「試乗」と回答し、「買い物」など生活の一部としての外出は14%(18回)にとどまった。そのため、シェアモビリティが行動範囲の拡大や、外出機会に繋がるかを検討する必要がある。	泉北ニューデザイン推進室 政策企画部	―
69	モビリティ	OpenStreet株式会社 大阪府住宅供給公社 (歩行領域モビリティ「COMOVE(コモビ)」シェアリング実証事業)	【目的】 幅広い世代の様々な移動ニーズに対応し、便利で快適な移動環境の構築 【概要】 歩行領域モビリティ「COMOVE（コモビ）」の無人シェアリングに向け、公社賃貸スマリオ泉北センター（堺市南区茶山台1-2-1 泉ヶ丘センタービル2階）にて有人でのシェアリングを実施	南区	R6. 10. 24	R6. 11～R7. 3	大阪府住宅供給公社と連携し、集合住宅などでの利用を見据え、令和5年4月改正道路交通法の施行により新設された車両区分「移動用小型車」に分類される歩行領域モビリティ「COMOVE（コモビ）」を18歳以上の方に無料貸出を行う事業を実施 【貸出件数】5件	泉北ニューデザイン推進室 政策企画部	―
70	ヘルスケア	大阪経済大学人間科学部 社会ライフデザインコース 大橋研究室 (泉ヶ丘デジタルスタンプラリー)	【目的】 一般社団法人セーフティネットリンケージが提供するみまもりあいアプリのデジタルスタンプラリー機能を活用し、ICTの活用による市民の健康増進や外出・交流促進、地域の新たな魅力発見の機会創出 【概要】 高齢者の見守り支援を目的とした「みまもりあいアプリ」を活用し泉ヶ丘駅周辺においてデジタルスタンプラリーを実施	南区	R6. 10. 25	R6. 11～R7. 1	【成果・得られた知見等】 デジタルスタンプラリー参加者 206名 達成者数 49名（平均年齢:60.3±15.1） 参加者からは、「各スポットでスタンプをもらえることが褒められているようで励みになり、歩くことができた」「今まで月に数回しか外出していなかったが、近隣で外出できる場所を知り行動範囲が広がった」「泉北に20年以上住んでいるが、普段行かない場所を知ることができ楽しみが増えた」などの声をいただいている。	泉北ニューデザイン推進室 政策企画部	―
71	エネルギー	大阪府・堺市 (竹城台ゼロエネルギータウン創出事業)	【目的】 国から脱炭素先行地域として採択された「堺エネルギー地産地消プロジェクト」の取組の一つとして府営竹城台第3住宅活用地で子育て世帯向けの住宅地形成・脱炭素の取組を進める 【概要】 大阪府担当者との意見交換等を通じ、SENBOKUスマートシティコンソーシアムより府営竹城台第3住宅活用地におけるスマートシティや脱炭素の取組を提案	南区	R6. 12. 25 R7. 3. 26	R5. 10～ (実装からスタート)	・府営竹城台第 3 住宅活用地で、子育て世帯向けの住宅地形成に加え、脱炭素の取組を条件に一般競争入札による売却を大阪府が実施し、落札事業者が決定した。 ・大阪府、堺市、落札事業者と連携協定を締結した。	脱炭素先行地域推進室 泉北ニューデザイン推進室 政策企画部	○
72	モビリティ	OpenStreet株式会社 (電動サイクルシェアリング実証事業 堺都心部)	【目的】 都心部における住民や来訪者の方の移動利便性や回遊性向上に向けた新たな移動手段の検討 【概要】 電動サイクル（特定小型原動機付自転車）のシェアリング実施	堺都心部	R7. 3. 19	R7. 3～R8. 3	特定小型原動機付自転車のシェアリング実証事業を開始した。 実証開始時の貸出ステーション：22か所、貸出車両20台 あわせて、交通ルールや安全利用に関する周知や普及啓発を実施した。 ※使用する車両は特例特定小型原動機付自転車（最大時速6km）に切替可能	都心未来創造課 (旧堺駅エリア整備担当) 政策企画部	△